

議題説明

議題 1 津波浸水想定設定ワーキンググループの設置について

国で検討が進められていた日本海溝・千島海溝沿いモデルが公表されたことから、津波浸水想定を設定するため、別添要綱案のとおり、北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会にワーキンググループを設置したい。

議題 2 津波浸水想定設定ワーキンググループ委員の選任について

以下の 5 人の方を委員としたい。

| 所 属 | 職 | 氏 名 |
|---------------|-------|---------|
| 北海道大学 | 名誉教授 | 平 川 一 臣 |
| 北海道大学大学院理学研究院 | 教授 | 谷 岡 勇市郎 |
| 北海道大学大学院理学研究院 | 教授 | 高 橋 浩 晃 |
| 北海道大学大学院理学研究院 | 准教授 | 大 園 真 子 |
| 札幌管区气象台気象防災部 | 地震情報官 | 高 橋 博 |

議題 3 地震防災対策における減災目標策定に関するワーキンググループ委員の追加について

平成 30 年の北海道胆振東部地震をはじめ国の地震調査研究推進本部によると「千島海溝沿いの超巨大地震の発生が切迫している可能性が高い」と評価されていることから、津波浸水想定の設定後、速やかに減災目標の策定が求められる。

そのため、今年度中に、人的、物的被害の手法についての検討に着手したいと考えており、検討にあたっては、北海道の地域特性を踏まえた地震被害手法の研究等行っている者の知見も必要であることから、これまでオブザーバー参加していた「北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所」から戸松主任研究員と「北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所」から内田地域地質部長を委員に追加したい。

※4月22日に書面開催を行い4月30日に全会一致で議題1～3について了承された。